

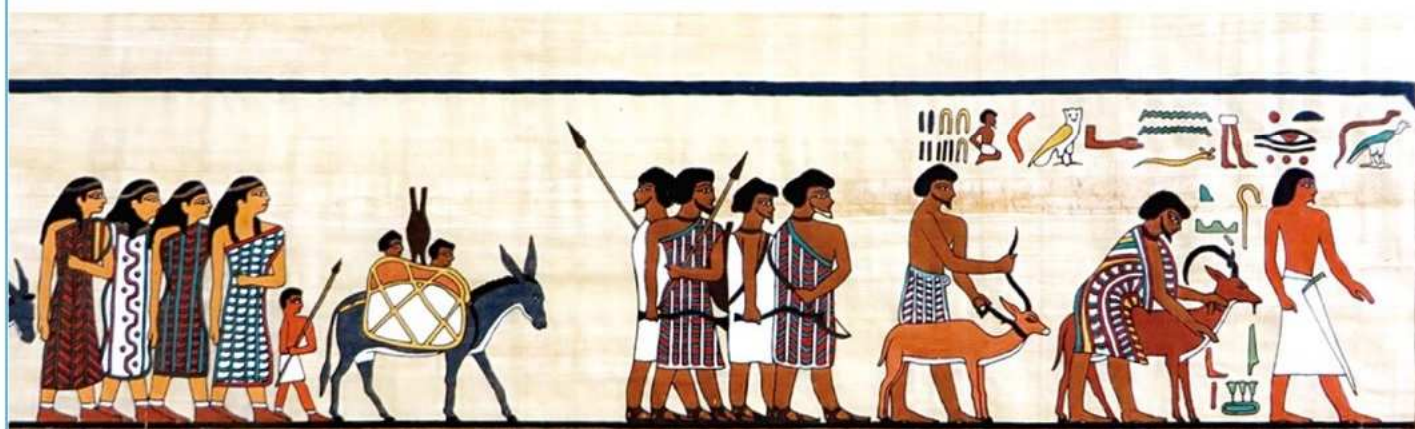
# カトリック河原町教会だより

2015年1月

## 出発しましょう

### 教皇フランシスコ・使徒的勧告『福音の喜び』

アブラハムは新しい土地へと出て行くようにという呼びかけを受け入れました(創世記 12・1)。モーセも「行きなさい。わたしはあなたを遣わす」(出エジプト 3・10)という神の呼びかけを聞いて、民を約束の地に導きました。



出エジプト

(パピルス画)

今日、イエスの命じる「行きなさい」ということばは、教会の宣教のつねに新たにされる現場と挑戦を示しています。皆が、宣教のこの新しい「出発」に招かれています。すべてのキリスト者、またすべての共同体は、主の求めている道を識別しなければなりません。わたしたち皆が、その呼びかけにこたえるよう招かれています。つまり、自分にとって快適な場所から出て行って、福音の光を必要としている隅に追いやられたすべての人に、それを届ける勇気をもつよう招かれています。(第1章 20)

～本物にふれた恵みの一日～  
**中高生会・秋の遠足報告**  
 (2014.10.19)

**「祈り・学び・交わり・分かち合いを  
 通してイエスさまと出会う」**

中高生会では、毎年秋に遠足を  
 行っています。中高生会の授業や  
 活動は毎週日曜日です。遠足も日  
 曜日に行いますので、どこへ出か  
 けても、まず主日のミサにあずか  
 ります。河原町教会以外の教会の  
 ミサにあずかることも、遠足のひ  
 とつの大切な目的です。



高槻教会聖堂で

さて、中高生会では昨年の1学  
 期から授業で「高山右近」のこ  
 とを勉強し、日本のキリスト教史  
 について学びを深めています。そ  
 こで、今年の遠足は、右近ゆかり  
 の地「高槻」と、かくれキリシタ  
 ンの里「茨木の千提寺」を訪れる  
 ことにしました。

当日はさわやかな秋晴れに恵ま  
 れ、2名の中高生と7名のリーダ  
 ーは阪急河原町駅に集合、高槻教

会へと向かいました。教会では皆  
 さんが温かく迎えてくださり、用  
 意されていた前の席に案内されミ  
 サにあずかりました。「ウィーク  
 エンド関西」という番組の取材に  
 来ていたNHKのカメラが、ミサ中  
 ずっと回っていました。閉祭の歌は、  
 「ユスト高山右近を賛う歌」でし  
 た。ミサ後、NHKから、取材に応  
 じてほしいとの申し出があり、右  
 近についてインタビューを受けま  
 した。

その後、高槻教会の中高生会の  
 メンバーと一緒に高槻城跡公園に  
 行き、自己紹介ゲームをしたり楽  
 しい交流の時を過ごしました。最  
 後に高槻教会の中高生会のリーダ  
 ーのギター伴奏で、皆で「ウォ  
 クインザライト」(光の中を歩もう)  
 を歌って別れました。



高槻駅前で昼食の「たこやき」  
 を食べた後、茨木へと移動。阪急  
 茨木市駅から二山ほど越えた静か  
 な山里に、次の目的地「愛と光の  
 家」がありました。黙想の家「愛  
 と光の家」は、設立当初から花井  
 神父様が関わっておられ、ぜひ行  
 くようにとの今回の神父様のおす  
 すめスポットでもありました。

木造日本家屋の落ち着いた佇ま  
 いの聖堂で聖体訪問をし、静かな  
 祈りの時を持ちました。スタッフの  
 方からお話を聞き、また祇園祭が  
 大好きだというフランス人神父様  
 にもお会いすることができました。



茨木市立キリシタン遺物史料館

そこを出てから急な坂を上ると  
 「茨木市立キリシタン遺物史料館」  
 に着きます。ここでは、ザビエル  
 の来日から現在に至るまでの日本  
 のキリスト教の歴史と、茨木のか  
 くれキリシタンについてまとめた  
 VTRを鑑賞しました。

また、「聖フランシスコ・ザビエル  
 像」や「聖マリア十五玄義図」  
 が見つかった「東家」の方に説明  
 をしていただきながら、貴重なキ  
 リシタンの遺物を見ることもでき  
 ました。ここでもNHKの取材に協  
 力し、帰路につきました。

中高生の参加者が少なかったの  
 は残念でしたが、非日常の体験、  
 さまざまな出会い、本物とのふれ  
 合いができた、楽しく実り豊かな  
 遠足の一日となりました。

(教育部/奥埜 さと子)

- の集い、土曜学校クリスマス会・侍者、献金  
 奉仕者新年会の手伝いを予定。初聖体衣装  
 の製作予定。④キリシタン研究会二月一日  
 の日本二十六聖人殉教者記念ミサのチラ  
 シ等の準備を十二月十日に行う。「大巡  
 礼会」は二月十一日に行う予定。④ザビエ  
 ル訪れ会 昨年の敬老懇親会出欠リストか  
 ら今年度の訪問計画先、九十六軒の住所録  
 作成が完了。クリスマス市民の集いアンケ  
 ート回答者への対応は一月～三月中に完  
 了の予定。
- 施設管理部** ①役員候補被推薦者はなかつ  
 た。②十一月三十日の美化デーは無事終  
 了。待降節の飾り付け、二十四日の前庭の  
 飾りつけ準備、音響設備の調整等も完了。  
 広報部 ①十一月三十日に新ウェブサイトを  
 公開した。②河原町教会の案内用リーフ  
 レットを作成中で、クリスマスまでには  
 完成の予定。
- 行事予定**  
 四ページの行事予定欄に記載。
- 協議事項**  
 ◇二〇一五年度行事予定変更  
 三月の美化デーを二十二日に変更する。  
 ◇年末年始のミサ予定  
 十二月三十一日、一月一日・二日の夕方ミ  
 サは行われぬ。三日夕方は主日ミサがあ  
 り、以降暦どおり。
- その他**  
 ◇聖書朗読希望者募集は十二月中継続し、  
 一月評議会で結果報告される予定。  
 ◇施設管理部から、地下トイレ清掃奉仕者  
 の募集を実施する。  
 ◇七五三等、教会行事の写真を希望の場合  
 は事務室にデータの問い合わせが可能。  
 ◇ぶどうの会代表が今年度から評議会に  
 出席することが承認された。

## 2014年 待降節黙想会

## 「神の愛の証し」

～西経一神父を迎えて～

12月6日(土)、寒い中100名余りの方が参加されました。西神父の講話の概要を紹介します。

マタイ13章44節から「天の国」のたとえ話があります。「畑に宝が隠されていて、見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う」。天の国とは、自分の持ち物をすべて売り払ってでも手に入れる価値があると思っておられる方が多いと思いますが、それは違います。天の国の主人公はいつも神です。宝とはこのわたし自身であり、自分の持ちものすべて、自分のひとり息子を投げ捨てても、このわたしを買い取り、救ってくださるのが神なのです。わたしが何もしなくても、できなくても、神はわたしをかけたがえのない宝物としてくださっています。これは、何もできない赤ん坊を、理由なく「よしよし、いい子」と言う親と同じです。天の国はわたしが努力して手に入れるものではありません。

保育園のときのエピソードです。シスターがクリスマスに空っぽの馬小屋を作って、藁を用意し、園児たちに「良いことをしたら藁を1本ずつ馬小屋に敷いてイエス様を迎えましょう」と言いました。園児た

ちは競争して良いことをたくさんして、馬小屋は藁でいっぱいになりました。それを見たシスターが「あら、これではイエス様が入れないわ」と言ったのです。わたしは幼い時に、「善業を積み重ねていっぱいのところにはイエス様は入れない」ということを悟ったわけです。



世の中は取引交換で成り立っていますが、わたしたちの人生はそのためにも与えられているわけではありません。イエスが来られたのも、取引交換なしの無償の愛のためです。わたしが信じるから救われるのではなく、救われていることを信じることで、わたしの信仰はそこにあるのです。イエスは、宿のない羊飼いたちのためにご自分も宿のない状態でお生まれになりました。神は目立たず気づかれずに人となられたのです。クリスマスは、天の父がご自分の身を裂いて与えてくださった、それほどにわたしたちを愛された、それを祝う日です。

ミサのときにパンは裂かれます。裂かれるから聖体となるのです。身を裂く痛みが愛です。麦は刈り取られ、すりつぶされ、粉にされ、こねられ、型にはめられ、焼かれてパンになります。それが皆さんの日々の生活です。それをミサで奉納するのです。イエスはそのパンを手にとって「わたしの体である」と言われるのです。ミサは、愛の秘跡、一致の秘跡、パンを裂く式であり、秘跡であって奇跡ではありません。パンはちぎられ裂かれて食べられるのが喜びです。命もパンと同じように、裂かれ、自分を相手に差し出すとき一番喜ぶのです。

神が人の子となったのは、人が神の子になるため、わたしたちと神とを結ぶためです。クリスマスはそのためにあるのです。(教育部担当者)

## 2015年度教会役員

よろしくお祈りします



越知謙之助 (留任)



北村 進 (新任)



工藤由紀子 (留任)



駒井 茂一 (新任)



ハビエル・ピタリ (新任)

## 河原町教会十二月評議会報告要約

開催日 二〇一四年十二月七日(日)

## ■司祭団の報告

①新役員選任について本評議会にて審議し決定する。②主の降誕夜半ミサは大塚司教司式の予定。③ミサ時の共同祈願用マイクの準備態勢を改善してほしい。

## ■選挙管理委員会から

新役員被推薦者が期日までに三名に満たなかったため、本評議会での審議となる。審議の結果、北村進氏、駒井茂一氏、ハビエル・アルバラド・ピタリ・エルナンド氏の三名が二〇一五年度新役員として承認された。

## ■宣教司牧評議会から

①配布中の『ミサ中の聖体拝領の方法に関する指針』の理解を深める。②右近列福の内定期間中も「列福祈願の祈り」を継続。③司教年頭書簡への理解を深める。④福音宣教を旨とした評議会の方向性を考える。

## ■部会報告

典礼部 聖堂清掃奉仕者は三名増により、要員不足がやや解消された。

財務部 ①各部の予算案と実績の間の乖離を避けた。②維持献金納入協力依頼書は六十五歳以下・約百名に郵送が完了した。③今年度実績と来年度予算案・収支計算書貸借対照表・維持費献金推移表が配布、説明がなされた。

教育部 ①土曜学校 十一月一日からクリスマス会の準備開始。下級生は降誕劇、上級生は「四人目の博士」の劇を演じる予定。②中高生会 十一月十三日土曜学校クリスマス会に参加。十一月二十四日十九時からクリスマスパーティーを予定。③六日(土)の待降節黙想会は無事終了した。④エリ

## ◆ 2015年1月・2月の行事予定 ◆

(2月は予定です。変更場合があります)

## 行 事 予 定

1 月	1	木	《神の母聖マリア》元日ミサ 7:00・10:30
	4	日	《主の公現》評議会1月例会 10:30 ミサ後
	11	日	洛東ブロック司教訪問(伏見教会) 9:00
	24	土	洛東ブロック会議(山科教会) 14:00
	25	日	村上透磨神父霊名(トマス・アキナス1/28記念日)のお祝い 10:30 ミサ 河原町教会総会 10:30 ミサ後
2 月	1	日	評議会2月例会 10:30 ミサ後 26 聖人殉教者記念ミサ(西陣教会) 14:00
	3	火	高山右近殉教400年祭記念ミサ(神戸文化ホール) 13:30
	11	水	花井神父・司祭叙階金祝ミサ 11:00
	18	水	《灰の水曜日》四旬節第1日(大斎・小斎)
	21	土	洛東ブロック四旬節黙想会(山科教会) 10:00~16:00

## 河原町教会 ミサの時間

## 日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語 第2・4)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

## ◆ 美しい賛美にあふれた ♪ クリスマスチャリティーコンサートから ♪



2014年12月14日

## ◆ 河原町教会総会開催のお知らせ ◆

河原町教会総会が以下のとおり開催されますのでご出席ください。

2015年1月25日(日) 10:30 ミサ終了後

ヴィリオンホールにおいて

## 京都南部地区 信徒養成講座 が新しいテーマでスタートします

## 『 祈りを学ぶ 』

- \* 信徒の方が祈りをより深めるための講座です。
- \* 講話の後、聖堂で15分くらい祈りの時を持ちます。

日時： 毎月1回 木曜日 14:00~15:00

講師： 北村 善朗 神父(京都司教区)

会場： 河原町教会 1階集会室

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

(カトリック中央協議会発行¥1,200)



## 信仰の学びのお知らせ

## ◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井 拓夫神父(1F)

19:15 一場 修神父(1F)

水曜日 10:00 村上 眞理雄神父(1F)

19:00 花井 拓夫神父(3F)

木曜日 15:00 花井 拓夫神父(3F)

金曜日 19:15 村上 透磨神父(1F)

※鶴山 進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

## ◇京都南部地区 信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村 善朗神父「祈りを学ぶ」

1月15日(木) 14:00

2月19日(木) 14:00

テキスト：『カトリック教会のカテキズム要約』

## ◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

- ◆ 旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

## ◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導 鶴山 進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

- ◆ 参加ご希望の方は、事務室までお申し込みください。

レクチオ・ディヴィナの前、10時からミサが行われています。どなたでもご参加ください。